

企画展示

「原野の文学」 4月27日(土)～7月21日(日)

釧路近郊に広がる湿地帯は釧路湿原と名付けられる前には「ヤチ」「原野」と表現され、早川三代治『処女地』や原田康子『挽歌』などの文学作品に描かれています。その原野の片隅で、昭和初期に更科源藏と猪狩満直など釧路にゆかりのある詩人たちが詩の雑誌をつくりました。

本展では、釧路湿原や釧路川など原野の風景が描かれた代表的な文学作品を展示するとともに、根釧原野の開拓に生きた更科源藏と猪狩満直、二人の詩人に関する資料を集めて紹介します。

★関連イベント

<7階展示室開催>パネル展「釧路湿原自然再生への取り組み」

5月29日(水)～6月16日(日)

釧路湿原再生事業について、パネルを交えながら紹介します。

講演「原野の詩人 更科源藏一北の原野の物語一」

6月30日(日) 13:30～15:00 (開催場所：7階多目的ホール)

松橋秀和氏(更科源藏研究者・秀和人文科学研究所主宰)が更科源藏の生い立ちから青春までの半生を紹介し、詩誌『北緯五十度』に集まった詩人たちとの交流と日本の詩文学への影響、釧路・根室地方の文学との関わりについて語ります。

Monthly 朗読会

6月16日(日)

朗読：ジスイズ朗読会
岸本真希人、小田島本有

作品：更科源藏『わが師 わが友』
小田島本有『釧路から～国語
教師のメッセージ』

7月14日(日)

朗読：浅野目正義

作品：更科源藏『更科源藏詩集』

場所 文学館内

時間 13:00～13:30

入場無料・申込不要